理学療法評価学実習2009

平成21年4月9日

文責：堀　寛史

１， 授業中に関するルール

（１）.授業中に私語をしないこと（一般論として当たり前であるが強調して書きました）。

→ たとえば、聞き取れなかったことを隣の人に聞くなどは良いが、「ざわつく」ような私語は心がけて行わないようにしてください。

（２）.遅刻、欠席に関しては報告を怠らないようにしてください（遅刻、欠席についてとがめるのではなく、報告できなかったことをとがめることがあります）。

（３）.授業中の水分補給は認めます。しかし、食事は避けてください。

（４）.授業中の居眠りは気付かれないようにしてください。気づかれない限り居眠りは許します。

※ 当授業においては他者への迷惑になる行為（他者の権利を侵害する行為）を最も悪しき行為であると考えます。つまり、最も許しがたいのは「ざわつく」ことです。遅刻、欠席、居眠りに関しては個人の責任において行えばよいので、それを権利として認めます（ルールの範囲内で）。

２，授業日程

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日程 | 4月9日 | 4月16日 | 4月23日 | 5月7日 | | 5月14日 | 5月21日 |
| 回数 | 1 | 3 | 5 | 7 | | 9 | 11 |
| 2 | 4 | 6 | 8 | | 10 | 12 |
| 内容 |  |  |  |  | |  |  |
|  |  |  |  |  | | 小テスト |  |
| 日程 | 5月28日 | 6月4日 | 6月11日 | 6月18日 | | 7月2日 | 7月9日 |
| 回数 | 13 | 15 | 17 | | 19 | 21 | 22 |
| 14 | 16 | 18 | | 20 |  |  |
| 内容 |  |  |  |  | | テスト | テスト解説 |

※授業は木曜日2～3限にかけて行います。

※4限は運動療法室を解放し、実技の練習時間として使用可能にします。

※テストまで授業は10回しかありません。テストを受けるための条件は便覧で定められています２/３以上の出席です。ですので、３回欠席するとテストが受けられなくなる可能性があります。

３，評価方法

1. 出席点（レポート点：9回）24点＋α（3点＋1～3点　加点段階を増やします）
2. 小テスト　20点
3. 期末試験点　50点　（最終的な平均点75点に合わせたテストを作成します）

４，到達目標

1. 理学療法評価プロセスを理解する

→特に「情報の分析」ができるようになる

1. 理学療法評価プロセスと必要な実技を身につける
2. 各検査の関連性を知り、疾患別の使い分けを理解する